

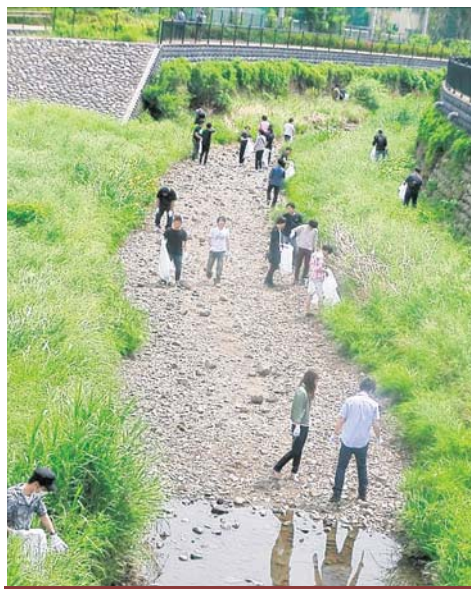
循環型社会をめざす！環境とリサイクルなど学習・活動の場 エコプラザ西東京 からのお知らせ

エコプラザ西東京には、平成28年3月現在29の環境団体が登録して活動しています。この中には、市民のみなさんの元へ出張して行う「出前講座」を企画・実施している団体があります。今回は、2団体の日頃の環境活動と出前講座の様子を紹介します。

✳️ 下記団体の出前講座をご希望の方は、ご紹介いたしますので、エコプラザ西東京（042-421-8585）または環境保全課（電話 042-438-4042）までご連絡ください。

石神井川を清流に！ 西東京にホタルを再び！

MeC西東京



〔上〕毎月、弥生橋付近で行われる川掃除

石神井川は西武新宿線の南側を流れる市内唯一の一級河川で、水害対策のために兩岸と川底はコンクリートに覆われています。昔に比べて生活排水が流れ込むことは少なくなり、水質も以前より改善されつつありますが、ビン缶類やビニール袋などが散乱し、投げ込まれたようなゴミもあり、川を大切に心がけなくなっています。

MeC西東京が毎月一回の川掃除を始めて9年になります。

最近、川を管理する東京都により、多くの生き物が棲み、水辺に親しむ河川に改修されたこともあり、ホタルの餌になるカワナナの放流を始めました。このような8年間にわたる川掃除の活動によって、昨年7月に東京都から表彰されたことで活動への意欲も高まっています。

〔出前講座〕環境問題を若い世代に伝えようと、出前講座も行っています。公民館や東伏見小学校では地球温暖化の話やホタルのビデオ上映などを行いました。関心を持った子どもたちが川掃除に参加してくれるのが楽しみです。

菜の花・ひまわりで循環型まちづくり

西東京 菜の花エコ・プロジェクト

西東京 菜の花エコ・プロジェクトは、菜の花・ひまわり栽培から環境・農・食・資源循環のモデルを体験しながら学ぶ環境・食育学習を展開し、また食廃油を再生可能エネルギーとして活用する社会づくりを目指しています。

一面に広がる菜の花は、人の心を癒し、春の食卓を彩り、菜種油は調理用に、搾りかすは肥料になります。また、調理後の食廃油は石けんやディーゼル燃料として再利用できます。この燃料は作物から作られるため、燃やしても二酸化炭素が増えない資源循環型のすぐれもの。21世紀は持続可能な地球環境を目指して、循環型まちづくりを実行に移していくときです。

〔出前講座〕市内に活動を広げるために、10年前から西東京市内の小中学校、児童館、公民館や大学などで、菜種・ひまひまわりの搾油、食廃油のロウソク作り、昔の火起こし体験などの出前講座を行っています。



〔左〕小学校の出前講座で行ったひまわりの搾油体験の様子。ひまわりの種は東大農場で栽培したものです。

エコプラザ西東京協力員募集中

こんな方を募集しています

- ☆環境学習活動に興味がある
- ☆環境保護やリサイクルに興味がある
- ☆経験を生かして講師をしてみたい
- ☆環境フェスティバル・夏休みエコあそびで子どもと触れ合ってみたい
- ☆いろいろなアイデアを活かしたい

対象 市内在住、在勤、在学の18歳以上の方ならどなたでも。

内容 環境学習活動への協力、イベント活動での協力など。

手続き エコプラザ西東京プラザ棟2受付窓口で登録申請書に必要事項をご記入ください。（※2年ごとに更新手続きあり）

西東京市ホームページもご覧ください。
トップページ→くらし→「環境」エコプラザ西東京
→エコプラザ西東京協力員



地球くんのエコな豆知識

電気自動車と充電設備

■環境に優しい次世代の自動車として注目されているエコカー。新車販売台数に占める電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド車（PHV）の割合は、5年後に最大20%まで普及することが見込まれています。

■EV車はフル充電で100～200km走りますが、最大の心配は「バッテリー上がり」。普通充電器ではフル充電に数時間以上かかるため、20～30分で充電可能な急速充電器の整備が望まれます。

■西東京市内のEV・PHV専用充電設備を調べたら、右図のとおり12か所ありました。このうち、無料スタンドは市役所駐車場の3か所でした。

西東京市内のEV充電スタンド。



保谷庁舎駐車場の充電設備

【お問合せ先】エコプラザ西東京（泉町3-12-35） 休館日：第3月曜日、年末年始（12/29～1/3）

※ごみ減量推進課・環境保全課・リサイクル家具受付とは電話番号が異なりますのでご注意ください。

TEL 042-421-8585（午前9時～午後5時）

FAX 042-421-8586（24時間）

Eメール ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp